

# 令和7年度 自己評価

令和8年3月  
本荘カトリックこども園

## 1. 園の教育目標

### 1. つよい心の子ども（自主性）

どんな困難にも負けず、健康で、明るく、力強く、たくましく伸びる力を目ざします。

### 2. あたたかい心の子ども（協調性）

隣人にはやさしく、思いやりがあり、自分を大切に、自然を大切にする心を目ざします。

### 3. すなおな心の子ども（自律性）

毅然として、良心にしたがい、自分で考えながら最後まで努力する力を目ざします。

これらの目標に基づいて行われた令和7年度の園運営に対して、職員による自己評価、および園評議員による施設関係者評価を行い、保護者による評価の結果をも踏まえながら、園として教育・保育方針が達成できたかの自己評価を行いました(保護者評価の結果については、別紙にてまとめています)。

## 2. 個別の評価項目について

評価項目	評価ポイント	評価	職員		評議員 A～C評価
			件数	%	
教育目標・保育	園の教育目標のもと、集団生活の中で一人ひとりの発達の過程や様々な姿を捉え、その状況を踏まえた援助や指導が行われていたか。 また、発達の見通しや活動の予想に基づいて環境を構成していたか。	そうだと思う	11	73	A
		だいたいそう思う	4	27	
		あまり思わない	0	0	
		わからない	0	0	
		合計	15	100	
保健・安全指導	子どもの発達の特徴を理解し、のびのびと行動できるように、職員が危険を取り除いたり、自らの力で安全に行動できる能力を身につけたりできるように健康及び安全に過ごすための取り組みが行われていたか。	そうだと思う	14	93	A
		だいたいそう思う	1	7	
		あまり思わない	0	0	
		わからない	0	0	
		合計	15	100	
園内研修・外部研修	子どもの発達の姿を捉えるための園内研修を定期的実施したり、日々の子どもの姿について話し合う機会や外部研修で得た情報を職員間で共通理解するなどの教育・保育の質の向上に努めていたか。	そうだと思う	10	67	A
		だいたいそう思う	4	27	
		あまり思わない	0	0	
		わからない	1	7	
		合計	15	100	
家庭・保護者との連携	保護者との情報交換の機会を設けたり、連絡帳を活用したりしながら日々の子どもの成長を伝え合い、家庭との連携を密にし、信頼関係を築くことができていたか。	そうだと思う	7	47	A
		だいたいそう思う	7	47	
		あまり思わない	0	0	
		わからない	1	7	
		合計	15	100	

評価項目	評価ポイント	評価	職員		評議員
			件数	%	A～C評価
職員間の連携	定期的なカンファレンスを行ったり、情報交換や意見交換などをしたり、保育者同士コミュニケーションを取り合いながら連携した保育・教育ができていていると感じているか。	そうだと思う	9	60	A
		だいたいそう思う	5	33	
		あまり思わない	0	0	
		わからない	1	7	
		合計	15	100	
行事について	園の行事や活動、保育参観など、日々の園生活に配慮し、子どもが期待や意欲が持てるような行事内容であったか。また、子どもや保護者同士が交流する場になっていたか。	そうだと思う	13	87	A
		だいたいそう思う	2	13	
		あまり思わない	0	0	
		わからない	0	0	
		合計	15	100	
地域との連携	小中学校生とのふれあい、地域の施設への訪問、職場体験など学校や地域の人達との交流を積極的に行っていたか。	そうだと思う	4	27	A
		だいたいそう思う	9	60	
		あまり思わない	1	7	
		わからない	1	7	
		合計	15	100	
子育て支援	園開放日、未就園児のコアラちゃん教室、預かり保育など、保護者のニーズにあった活動や支援ができていたか。	そうだと思う	8	53	A
		だいたいそう思う	7	47	
		あまり思わない	0	0	
		わからない	0	0	
		合計	15	100	

評議員評価 A:そうだと思う B:だいたいそうだと思う C:あまり思わない

### 3. 園としての総合評価と、評価項目に対するコメント

個別の評価項目の結果を踏まえて、令和7年度の自己評価を右の通りといたしました。以下、いくつかの評価項目についてコメントいたします。

評価
A

「園内研修・園外研修」について、今年度は秋田カトリック学園の研修会がカトリック新潟教区の保育者研修会と共催で行われ、県内外のカトリック施設で働く保育者との交流の機会となりました。今後も学園の理念や園の教育・保育目標を深めるべく、同じ理念のもと歩む園外の保育者との交流をより深めていきたいと思えます。

「家庭・保護者との連携」について、子育てに不安を感じる保護者に寄り添うべく、保護者参観の機会に合わせて薬局の担当者から子育てに関する講習の機会を設け、保護者からの好評を得ることができました。

「地域との連携」について、ここしばらく由利本荘警察署からお声かけいただき、地域での交通安全啓発活動に参加することで、子どもたちにとっても地域の一員としての自覚が芽生え、自分にできることへの自信をいただきました。由利本荘警察署長から感謝状をいただき、地域とともに歩んでいるこども園としての証となりました。

「子育て支援」について、慎重に検討を重ねた結果、子ども誰でも通園制度の来年度からの実施は見送りでしたが、来年度も引き続き情報の収集と実施の可能性を探っていきたいと思っています。